



佐野市立犬伏東小学校

校長室だより No.7

鯨山 1

R元. 7. 5 令和元年 7 月号①

〒 327-0817 佐野市伊勢山町 1534 TEL 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

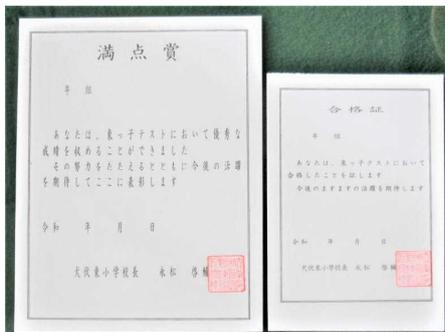
<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>

子どもたちの安全確保のために

最近、他県で起こった交通事故や不審者による事件については皆さんご存知のことと思います。身近にある危険にどこまで対応できるのか全国の学校で苦慮していると思われませんが、本校も例外ではありません。交通事故の危険性については写真のような自転車安全教室や巻き込み注意に関する授業を行ったりしています。登下校時の安全に対しては①登下校時は複数で登下校する。②防犯ブザーの携帯・活用をする。③声を掛けられても車には絶対に乗らない。④連れて行かれそうになったら大声を出す。⑤声を掛けられたり追いかけられたりしたらすぐに逃げる。⑥怖いことにあたり怖いことを見たりしたらすぐに大人に知らせる。といった指導を学校では行ったりしていますが、家庭でも繰り返し声を掛けていただければと思います。危険な場面にあった場合は警察及び学校にご連絡ください。



また、6月19日(水)には地震を想定した避難訓練に続いて引き渡し訓練を行い、保護者の皆様には大変お世話になりました。実際の災害発生時も本校は校門が狭い上に渋滞に巻き込まれたり渋滞を引き起こしたりする一因ともなるため自動車は使用できないことが考えられます。ご面倒でも徒歩による引き渡しをお願いしているところです。



東っ子テスト

本校では、学力向上を目指して、年6回「東っ子テスト」を実施しています。第1回目を6月17日(月)に実施しました。出題する問題をあらかじめ提示し、テストに向けての練習をしやすいようにしています。これは基礎・基本の定着を図るとともに、家庭学習の習慣を身に付ける一助とすることをねらいとしています。子どもたちが少しでも達成感や自己肯定感を高められるよう、また、学習や取組への意欲の継続となるよう「満点賞」は、校長室で一人一人に手渡し、「合格証」は各教室へ届けに行き、担任から渡します。子どもたちが目標や意欲をもって取り組めるように支援していきたいと思ひます。

学校のために働く -除草活動-

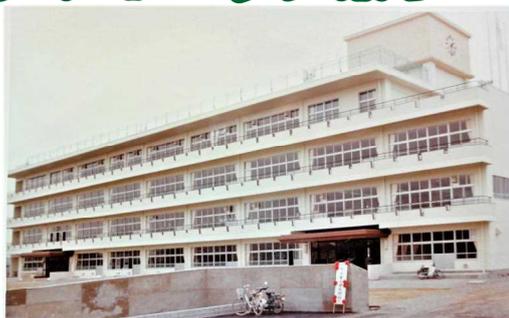
梅雨の季節で雨も多く、たくさんの草が生い茂るようになりました。そのため、各クラスではそれぞれ時間を設けて除草活動を行っています。この日は、1・2年生が熱中症に注意しながら花壇の除草を行いました。蒸し暑いこともあって少し大変でしたが、花壇もとてもきれいになりました。また、マイチャレンジ活動で本校での社会体験に来ていた中学校生も一緒に働き大変助かりました。皆で力を合わせて学校のために働くことで愛校心にもつながるとよいと思ひます。



創立40年を振り返って プレイバック東小

何度か触れましたように今年は犬伏東小学校が創立されてから40年目の節目の年です。校長室だより第3号では昭和57年に建てられた「明るいあいさつ」の碑(長島新二初代校長筆)についてご紹介しました。これから数回にわたり「創立40年を振り返って -プレイバック東小-」と題し、時代時代を振り返ってみたいと思います。

さて、右の写真は昭和55年4月8日開校式当日の朝の写真です。天気は晴れで火曜日でした。犬伏東小は鯨山と呼ばれていた小高い丘を寄附していただき整地をした土地につくられました。犬伏小学校から分かれる形でしたが、それまで犬伏小は1300名くらいの児童がいたそうです。開校式は午前10時50分から行われました。朝、全員がいったん犬伏小に集まり犬伏東小まで歩いてきたそうです。児童数は491名、1・2年生が3クラス、3～6年生が2クラスずつあり、25名の先生方でスタートしました。



各クラスを巡る給食の旅



6月から週1回、給食時間に各クラスを訪問し会食をしています。身支度を整えて配膳室に行き、消毒液で手などを消毒して教室まで給食を運びます。そして給食当番で仕事を分担して配膳をします。学校では「もぐもぐタイム」という時間を設けており、食事に集中できるよう黙って食べる時間となっています。その後は楽しく会話をしながら食事は進み、その日の給食についてのクイズを出したりもします。全員で協力して片付けた後は、歯磨きタイムとなっています。

皆様も経験されたことがあるかと思いますが、給食は毎日のことだけに一連の流れがしっかりと習慣化されている必要があります。大人になると他人と会食する機会は公私を問わず山のようにありますし、勤務先での食事時間(休憩時間)も基本的に決まっていますから時間内に食事を終わらせて遅れないように勤務に戻らなくてはなりません。楽しく食べることと合わせて、マナーなども身に付けていけるように学校でも根気強く取り組んでまいります。

子どもたちの作品を認める様々な形

学校では、毎日たくさん子どもたちの作品や課題を教員が確認し、励ましの言葉などを書いています(学校の世界では「朱書」と呼んでいます)。学級児童数の多寡もありますが、このことに費やす時間は結構なものです。認められれば誰だって嬉しいですし、学校には全員が認められる場がそこかしこにあるべきです。しかし、先日配布しました文部科学大臣メッセージにあるとおり昨今は国全体としての働き方改革の流れもあり、勤務時間にも制限が設けられる中、(以前からそうした傾向はありましたが)朱書に費やす時間は帰宅してからという教員がかなりの数に上ることも事実です。そこで、これまでもそうでしたが作品の評価は従来どおりしっかりと行い、朱書については全てではありませんが代替の方法(例えばいわゆるスタンプ、ハンコなど)を取っていくこともあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

学校では、毎日たくさん子どもたちの

さくら連絡網の登録をお願いします



先日、下校時間帯に急な雷雨がありました。各教室までのお迎えや残った子どもたちの完全下校などについてさくらメールを配信しました。このような、特に子どもたちの安全に関わることで、刻一刻と変わる状況やお知らせをさくら連絡網で配信することになります。連絡方法の命綱の面もありますので、できる限り登録へのご協力をお願いします。なお、登録用紙が必要な場合は各担任まで申し出てください。